

## 野田 正人教授 略歴と業績

### I. 略歴

1955年1月	埼玉県に生まれる
1978年3月	花園大学文学部社会福祉学科卒業 家庭裁判所調査官，花園大学文学部専任講師，花園大学社会福祉学部学助教授を経て
2000年4月	立命館大学産業社会学部教授 立命館大学大学院社会学研究科教授（学内兼務）
2005年4月～2008年9月	立命館大学法科大学院教授（学内兼務）
2006年4月	立命館大学大学院応用人間科学研究科教授
2018年4月	立命館大学大学院人間科学研究科教授（学内兼務）
2020年3月	立命館大学定年退職
2020年4月	立命館大学大学院応用人間科学研究科特別任用教授 立命館大学名誉教授

### （主な学内役職歴）

2001年4月～2002年3月	社会福祉実習指導運営委員会委員長
2005年4月～2006年3月	学生主事

### II. 専門分野

専門分野	刑事法学，社会学（含社会福祉関係），社会福祉学，教育心理学，臨床心理学
担当科目	応用社会学特殊研究，対人援助学演習，対人援助学研究法，対人援助学特別演習，学校カウンセリング論，司法福祉論，児童福祉論，福祉臨床学研究，ソーシャルワーク研究
学位	学士（文学）（花園大学，1978年3月）
研究課題	(1) 児童虐待への支援 (2) 子どもの非行と福祉的支援 (3) スクールソーシャルワークの実践 (4) スクールカウンセラーと学校臨床 (5) 司法福祉の当面する課題 (6) 障がい者の犯罪とダイバージョン

所属学会	日本司法福祉学会理事，関西社会福祉学会，日本生活指導学会，日本犯罪社会学会，日本心理臨床学会，日本社会福祉学会評議員，学校ソーシャルワーク学会理事（副代表2013～2016）（2018～），日本子ども虐待防止学会 評議員（2013.12～），日本子ども虐待防止学会 制度検
------	--

討委員，日本学校ソーシャルワーク学会関西ブロック運営委員（2016～），日本生徒指導学会（理事2018～）

### Ⅲ. 主な研究業績

#### 著 書

1. (共著)「司法福祉の焦点—少年司法分野を中心として」(加藤幸雄, 赤羽忠之, ミネルヴァ書房, 1994年11月) 182-199頁
2. (分担執筆)『世界の児童と母性』(「教護院の近未来像を読む」(財)資生堂社会福祉事業団, 1995年10月) 22-25頁
3. (共著)「事件のなかの子どもたち—「いじめ」を中心に」(浜田寿美男, 岩波書店, 1995年12月) 29-80頁, 173-189頁
4. (共著)「いじめと不登校」(佐伯胖・黒崎勲・佐藤学ほか, 岩波書店, 1998年4月) 266-282頁
5. (共著)「子ども家庭福祉論」(高橋重宏・才村純, 建帛社, 1999年10月) 182-192頁, 223-227頁, 263-286頁
6. (共編著)「子どもの権利と社会的子育て—社会的子育てシステムとしての児童福祉」(許斐有, 望月彰・桐野由美子, 信山社, 2002年10月) 223-233頁
7. 「新・社会福祉士養成テキスト「児童福祉論」」(松原康雄・山縣文治, ミネルヴァ書房, 2007年2月) 30-43頁
8. (分担執筆)「思春期・青年期サポートガイド」(太田政男・小島嘉孝・中川明・横湯園子 編著, 新科学出版社, 2007年12月) 304-308頁
9. (共著)「スクールソーシャルワーカー養成学会テキスト」(日本学会ソーシャルワーク学会編, ミネルヴァ書房, 2008年10月) 60-70頁
10. (共著)「よくわかる教育相談」(春日井敏之・伊藤美奈子, ミネルヴァ書房, 2011年4月) 172-175頁
11. (共著)「教育の最新事情がよくわかる本2」(教育開発研究所編, 教育開発研究所, 2011年6月) 75-77頁
12. (共著)「学校臨床」(本間友巳・徳田仁子ほか, 金子書房, 2012年1月) 170-182頁
13. (共著)「司法福祉」(日本司法福祉学会編, 生活書院, 2012年2月) 150-159頁, 190-199頁
14. (共著)「新教育課題の要点と実践」(新教育課題研究会編集, 第一法規, 2012年2月) 495の201-495の213
15. (共編著)「よくわかるスクールソーシャルワーク」(山野則子・半羽利美佳ほか, ミネルヴァ書房, 2012年4月) 24-25頁, 28-29頁, 52-55頁, 92-93頁, 148-151頁, 188-189頁
16. (共著)「児童虐待についての学校の対応—特に発見と通告をめぐって—」(望月昭, 村本邦子, 土田宣明, 徳田完二, 春日井敏之編, 『対人援助学の到達点』晃洋書房, 2013年7月) 168-179頁
17. (共著)「不登校とSSW・SCの取り組み」(春日井敏之・近江兄弟社高等学校単位制課程編『出会い直しの教育』ミネルヴァ書房, 2013年9月) 217-223頁
18. (編著)「施設における子どもの非行臨床 児童自立支援事業概論」(相澤仁監修 野田正人編集 梅山佐和ほか著, 明石書店, 2014年1月) 7-10頁, 19-32頁
19. (共著)「児童自立支援施設運営ハンドブック」(厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課編集委

- 員会 委員長 相澤仁共著, 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課, 2014年3月) 52-70頁, 266-280頁
20. (共著)「現代生徒指導論」(日本生徒指導学会編著, 学事出版, 2015年9月) 150-153頁
  21. (共著)「はじめて学ぶ生徒指導・教育相談」(本間友巳・内田利広編著, 金子書房, 2016年3月) 122-133頁
  22. (分担執筆)「教育の最新事情がよくわかる本3」(教育開発研究所編, 教育開発研究所, 2016年6月) 113-118頁
  23. (単独)「『不登校への対応』で管理職に求められる視点と対応策」(『別冊教職研修 学校管理職合格セミナー』教育開発研究所, 2017年4月) 28-31頁
  24. (共著)「教育相談」(春日井敏之・渡邊照美, ミネルヴァ書房, 2019年5月) 19-34頁
  25. (共著)「教育の最新事情がよくわかる本2020」(教育開発研究所編, 教育開発研究所, 2019年10月) 201-215頁
  26. (共著)「児童相談所の役割と課題」(遠藤久夫・藤岡公太・余田翔平・山口季音・松木洋人・坪井瞳・西本佳代・泉田信行・原田旬也, 東京大学出版会, 2020年3月) 1-13頁, 17-30頁

## 論 文

1. (共著)「戦後の非行問題を考える—朝日新聞社説を手がかりにして(上)—」(加藤幸雄・日江井幸治・加藤暢夫・野田正人・舟橋精一・佐野健吾『福祉研究』59号, 日本福祉大学, 1989年5月) 9-41頁
2. (共著)「戦後の非行問題を考える—朝日新聞社説を手がかりにして(下)—」(加藤幸雄・日江井幸治・加藤暢夫・野田正人・舟橋精一・佐野健吾『福祉研究』60号, 日本福祉大学, 1989年10月) 5-44頁
3. (単著)「交通関係事件の検察官送致について」(花園大学研究紀要, 1990年) 22頁
4. (単著)「児童虐待の刑事法的対応」(花園大学研究紀要, 1992年) 24頁
5. (単著)「少年(こども)保護の観点から」(『刑法雑誌』33巻2号, 日本刑法学会, 1993年5月) 298-309頁
6. (単著)「戦後沖縄の少年司法制度」(『福祉と人間科学』花園大学社会福祉学会, 1993年) 4頁, 110-121頁
7. (単独)「法のなかの年齢」(『発達』16巻61号, 1995年1月) 5-7頁
8. (単著)「いじめと少年司法」(『犯罪社会学研究』20号, 1995年) 37-50頁
9. (単著)「児童虐待を考える」(『地域同和』204号, 滋賀県解放県民センター, 1998年4月) 3-19頁
10. (単著)「最近の少年非行(事件)の特徴」(『法律時報』868号, 日本評論社, 1998年7月) 18-21頁
11. (単著)「『学級崩壊』に学ぶ」(『地域同和』218号, 滋賀県解放県民センター, 1999年6月) 3-12頁
12. 「滋賀県におけるスクールカウンセラー活動」(花園大学社会福祉学部紀要, 2000年3月) 23-32頁
13. (共著)「少年法の厳罰化に反対する緊急声明」(団藤重光, 村井敏邦, 齊藤豊治編『『改正』少年法を批判する』, 日本評論社, 2000年12月) 242-244頁
14. (単著)「今日の少年非行から見えるもの」(『日本の科学者』, 2001年2月号(36巻2号通巻397号), 2001年2月) 15-19頁

15. (単著)「児童福祉の理念と権利保障」(『児童福祉論』, ミネルヴァ書房, 2001年5月) 29-43頁
16. (単著)「ネットワークに思う」(子どもを支える相談ネットワーク, ミネルヴァ書房, 2001年7月) 240-244頁
17. (単著)「家庭裁判所調査官との連携と課題」(『発達』89号, ミネルヴァ書房, 2002年1月) 54-60頁
18. (単著)「中学校におけるスクールカウンセラーの失敗事例」(失敗事例から学ぶ心理臨床, 星和書店, 2002年3月) 203-209頁
19. (単著)「十四歳未満の子どもへの警察による調査をめぐる若干の課題」(『法律時報』957号, 日本評論社, 2005年6月) 81-85頁
20. (単著)石川義之著「家族による性的虐待 近親姦の実態と病理」(『現代の社会病理』20号, 日本社会病理学会, 2005年9月) 121-124頁
21. (共著)「高齢者・障害者の悪質商法被害と権利擁護～大津市・大津市社協の権利擁護の取り組み報告2～」(高齢者・障害者の権利擁護研究会, 2005年10月)
22. (単著)「子どもの安全について考える」(『都市問題研究』662号, 都市問題研究所, 2006年2月) 29-39頁
23. (単著)「子ども虐待とスクールソーシャルワーク」(『子ども虐待とネグレクト』8巻2号, 日本子ども虐待防止学会, 2006年9月) 190-194頁
24. (共著)「日本臨床心理士の培養之道」(『蘇州科技学院学报 社会科学版』23号, 蘇州大学科学技術学院, 2006年11月) 108-111頁
25. (単著)「スクールカウンセリングをめぐる最新事情」(『学校マネジメント』 明治図書, 2008年11月) 60-61頁
26. (単著)「スクールソーシャルワーカーとは何か」(『スクールソーシャルワーカー実践活動事例集』 文部科学省, 2008年12月) 4-7頁
27. (単著)「自殺の実態と防止のための取り組み」(『別冊教職研修』2008年4月号, 2008年) 31-33頁
28. (単著)「スクールソーシャルワーカーって何者?」(野田正人『月刊生徒指導』39巻6号, 2009年5月) 10-13頁
29. (単著)「今, 考える「児童虐待対応のねらい」」(野田正人『補導だより: <社> 京都府少年補導協会』55巻2号, 2009年7月) 22-25頁
30. (単著)「児童虐待一生徒指導提要」(野田正人『教職課程』2011年1月号, 協同出版(株), 2011年1月) 38-39頁
31. (単著)「虐待を受けた児童と教員の困難」(野田正人『季刊教育法』175号, 2012年12月) 40-43頁
32. (単著)「いじめ対策法と基本方針の枠の下で」(『季刊教育法』182号, 2014年9月) 24-30頁
33. (共著)「福岡市における養育支援訪問事業の効果及び悪化した家庭の要因と支援のあり方の検討」(元山彩織・河浦龍生・野田正人『子どもの虐待とネグレクト』16巻3号, 一般社団法人日本子どもの虐待防止学会, 2014年12月) 307-319頁
34. (単著)「わが国のスクールソーシャルワーク事業の発展史—なぜ2008年にこの事業は開始したのか—」(野田正人「学校ソーシャルワーク実践の動向と今後の展望」, 日本学校ソーシャルワーク学会10周年記念誌, 2015年6月) 6-9頁
35. (単著)「非行と学校ソーシャルワーク」(野田正人「学校ソーシャルワーク実践の動向と今後の展

- 望」日本学校ソーシャルワーク学会10周年記念誌, 2015年6月) 19-22頁
36. (単著)「【実践との対話】沖縄の少年非行対応と司法福祉における実践：宇都宮報告「少年鑑別所法における新たな取り組み」との対話」(野田正人『生活指導研究』32巻, 日本生活指導学会, 2015年8月) 41-44頁
37. (単著)「児童虐待への支援の基本」(野田正人『児童心理』69巻15号, 2015年10月) 106-110頁
38. (単著)「児童自立支援施設の今日的課題」(野田正人『犯罪社会学研究』40号, 日本犯罪社会学会, 2015年10月) 57-67頁
39. (単著)「新たな不登校児童生徒への支援を考える」(野田正人『生徒指導学研究』第15号, 2016年12月) 40-47頁
40. (単著)「「不登校予備軍」の子どもをどう見立てるか」(野田正人『月刊教職研修』通巻534号, 2017年2月) 22-23頁
41. (単独)「非行問題と学校」(野田正人『世界の児童と母性』81号, 2017年4月) 49-53頁
42. (単著)「児童自立支援施設におけるアセスメントについて」(『中国児協』2016巻, 中国地区児童自立支援施設協議会, 2018年8月) 2-5頁
43. (単著)「スクールソーシャルワーカーの「福祉に関する支援」から」(『子どもの心と学校臨床』19号, 遠見書房, 2018年8月) 33-42頁
44. (単著)「一人一人の多様な課題に対応した切れ目のない組織的な支援の推進」(野田正人『チーム学校と教育相談コーディネーター』一般社団法人日本学校教育相談学会, 2019年5月) 2-3頁
45. (単著)「学校はいじめをどう見抜き対応するのか」(野田正人『教育と医学』67巻8号, 2019年9月) 62-67頁
46. (単著)「学校心理士の児童虐待への対応について」(『日本学校心理士会年報』2020年3月) 12頁, 124-134頁

#### IV. 社会における活動

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 1994年9月～1995年10月  | 全国社会福祉協議会「児童福祉施設のあり方委員会」委員  |
| 1997年5月～          | 滋賀県臨床心理士会 会長・同副会長・同会長   |
| 1998年10月～         | 滋賀県 社会福祉審議会：児童措置審査部会長   |
| 2000年4月～2006年5月   | 近江八幡市 児童虐待防止ネットワーク協議会：会長  |
| 2000年5月～          | 中国地区児童自立支援施設協議会 専門委員会特別顧問<br>日本子ども虐待防止学会 評議委員<br>日本子ども虐待防止学会 日本子ども虐待防止学会 制度検討委員 |
| 2000年6月～2012年5月   | NPO 法人おうみ犯罪被害者支援センター理事長, 理事   |
| 2000年7月～          | 滋賀県 児童虐待防止連絡協議会：副会長・会長  |
| 2000年9月～2000年12月  | 滋賀県社会福祉協議会 滋賀の健康福祉を实践する130人会議, 共生プロジェクト審査委員                                     |
| 2000年11月～2004年10月 | 三重県阿児町 要保護児童対策地域協議会：会長 (→志摩市)   |
| 2002年7月～2008年7月   | 滋賀県 社会福祉審議会委員   |
| 2002年8月～2006年8月   | 滋賀県社会福祉協議会 運営適正化委員会苦情解決合議体長・運営監視合議  |

## 体長・委員長

- 2002年9月～2004年10月 滋賀県石部町 要保護児童対策地域協議会：会長（→湖南省）
- 2003年5月～2003年10月 厚生労働省 社会的養護のあり方に関する専門委員会委員
- 2004年1月～2008年1月 滋賀県 健康福祉サービス推進委員会委員
- 2004年4月～ 滋賀県 非行少年等立ち直り支援システムにおける総合コーディネーター
- 2004年6月～2005年3月 滋賀県 次世代育成支援対策地域協議会委員
- 2004年10月～ NPO 法人 TPC 教育サポートセンター副理事長
- 2004年10月～ 滋賀県湖南省 要保護児童対策地域協議会：会長
- 2004年10月～ 三重県志摩市 要保護児童対策地域協議会：会長
- 2004年10月～2005年3月 福岡市「一時保護児童に係る処遇向上検討委員会」委員
- 2005年7月～2006年3月 厚生労働省 児童自立支援施設のあり方に関する研究会委員
- 2005年8月～2010年3月 大津市 次世代育成支援推進会議委員長
- 2005年12月～2013年12月 滋賀県 健康福祉サービス評価システム推進委員
- 2006年1月～2006年4月 福岡市「児童虐待防止のための早期発見・支援及び連携のあり方に関する検討委員会」委員長
- 2006年1月～2008年1月 滋賀県 健康福祉サービス評価システム推進委員会委員および児童分野サービス評価推進部会委員
- 2006年5月～2008年3月 近江八幡市 児童虐待防止ネットワーク協議会：顧問
- 2008年～2009年 日本学術振興会 科研費審査委員 第1段審査委員 法学分科 社会法学細目
- 2008年5月～2009年3月 文部科学省 教育相談の充実に関する調査研究協力者会議委員
- 2008年5月～2009年3月 文部科学省 スクールソーシャルワーカー活用事業審査評価委員
- 2008年7月～2011年7月 滋賀県 社会福祉審議会委員：会長代理者
- 2008年8月～ 滋賀県 社会福祉審議会児童福祉専門分科会児童虐待事例検証部会会長
- 2008年9月～2009年3月 石川県教育委員会「スクールソーシャルワーカー活用モデル事業」スーパーバイザー
- 2009年4月～2012年4月 大津市 社会福祉審議会委員児童専門部会長
- 2009年4月～2013年2月 大津市 大津市要保護児童対策地域協議会：会長
- 2009年5月～2009年11月 滋賀県 子ども・青少年総合計画策定協議会委員
- 2009年5月～2010年3月 文部科学省「生徒指導提要」作成協力者兼執筆者
- 2009年5月～2013年6月 滋賀県社会福祉士会 理事
- 2009年6月～2010年7月 内閣府 子ども・若者支援地域協議会運営方策に関する検討会議委員
- 2009年7月～ 滋賀県愛荘町 要保護児童対策地域協議会：会長
- 2010年～2010年 文部科学省 生徒指導に関する教員研修のあり方に関する検討委員会委員
- 2010年～2012年 日本社会福祉学会 倫理委員会委員
- 2010年5月～ 大阪府寝屋川市教育委員会 子どもサポート会議委員
- 2010年5月～2010年9月 三重県 児童虐待重篤事例検証委員会委員
- 2010年7月～ 滋賀県教育委員会 スクールカウンセラー等活用事業協議会委員
- 2010年10月～ 京都市 子ども・若者支援地域協議会代表者会議委員

2010年10月～ 2011年～	京都市 子ども・若者総合支援に係るスーパーバイザー 厚生労働省 児童自立支援施設運営指針ワーキング委員（運営指針と第三者 評価基準策定）
2011年2月～2012年3月 2011年7月～	文部科学省 生徒指導・進路指導総合推進事業審査委員会座長 滋賀県 社会福祉審議会 臨時委員
2011年10月～2013年9月	京都府 参与・青少年問題担当
2011年11月～2012年1月	大津市 子ども家庭相談システム業者選定委員会：副委員長
2012年4月～2013年2月	大津市 社会福祉審議会会長
2012年8月～2014年12月	滋賀県高島市教育委員会 ストップいじめ対策会議コーディネーター
2012年9月～2013年3月	滋賀県 いじめ対策研究チーム
2012年12月～2014年3月	滋賀県社会福祉事業団 滋賀県障がい者審査委員会委員長
2013年4月～2014年3月	滋賀県 いじめ問題対応専門員スーパーバイザー
2013年5月～2014年7月	文部科学省 不登校生徒に関する追跡調査研究会委員
2013年5月～2015年3月 2013年10月～	京都府教育委員会 いじめ対策等生徒指導推進事業スーパーバイザー 滋賀県精神保健福祉センター ひきこもり子ども・若者支援にかかる連絡 会委員
2013年11月～2016年11月	滋賀県 子ども若者審議会委員
2014年4月～	滋賀県教育委員会 いじめで悩む子ども支援委員スーパーバイザー
2014年4月～	京都府 いじめ防止対策推進委員会委員
2014年4月～2015年3月	滋賀県 子ども家庭相談体制強化検討会議会長
2014年4月～2016年3月	大阪府教育委員会 いじめ対策等生徒指導推進事業連絡協議会委員
2014年4月～2018年3月	滋賀県 いじめで悩む子ども支援事業スーパーバイザー
2014年5月～2014年12月	滋賀県高島市 高島市いじめ防止基本方針策定委員会スーパーバイザー
2014年7月～2020年5月	京都府教育委員会 いじめ防止対策推進委員会委員
2014年10月～2018年3月	京都府 子どもの貧困対策検討委員会委員
2015年1月～2020年3月	文部科学省 不登校に関する調査研究協力者会議座長代理
2015年5月～2016年3月	長崎県 子ども育成総合検討会議委員
2015年12月～2016年3月	和歌山県教育委員会 不登校対策に係る有識者会議委員
2015年12月～2017年3月 2016年5月～	文部科学省 教育相談の充実に関する調査研究協力者会議座長 滋賀県いじめ問題対策連絡協議会委員
2016年6月～2017年3月	滋賀県教育委員会 フリースクールなどで学ぶ不登校児童生徒への支援モデ ル事業連絡協議会委員長
2016年7月～2017年3月	京都府教育委員会 フリースクールなどで学ぶ不登校児童生徒への支援モデ ル事業スーパーバイザー
2016年10月～2017年3月	和歌山県教育庁 不登校に係る適応指導教室等連絡協議会委員
2016年10月～2019年10月	滋賀県 子ども若者審議会委員
2017年5月～2018年3月	京都府教育委員会 「学校以外の場に於ける教育機会の確保などに関する調 査研究」スーパーバイザー

2017年10月～2018年3月	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 福祉サービスの質向上推進委員会 児童部会 社会的養護小委員会 社会的用語関係第三者評価委員会評価基準ガイドライン見直し検討作業チーム（児童自立支援施設）
2017年10月～2020年3月	守山市 守山市いじめ問題第三者調査委員会委員
2017年11月～2018年10月	滋賀県甲良町 いじめ問題対策連絡協議会委員長
2017年12月～2019年3月	滋賀県甲良町 いじめ問題対策連絡協議会専門委員会委員長
2018年5月～2019年3月	京都府教育委員会 いじめ対策年不登校支援等推進事業素スーパーバイザー
2018年5月～2019年3月	国立社会保障・人口問題研究所「一億総括役社会」実現に向けた総合的研究 プロジェクト委員
2019年4月～2020年3月	京都府教育委員会 平成31年度京都式学力向上教育サポーター事業に係るまなび・生活アドバイザー・スーパーバイザー

以上